

支部 REPORT 津久井支部

2016.9.14 掲載

津久井支部長 東郷 健二郎 (S59 年卒)

津久井支部は校内会員18名、校外委員23名の計41名で構成されています。相模原市との合併後も津久井支部として活動しています。

津久井支部も新会員の減少及び高齢化が進み組織を維持していくことも大変厳しい状況となっています。活動内容は、2年に一度の総会のみとなっており、年々参加人数も減少しているのが現状です。

私が友松会の津久井支部総会に初めて参加した頃は、40名近くの出席者があり、懇親会では歌ったり踊ったりと笑顔いっぱいの大変賑やかな会だったと記憶しています。懇親会で顔と名前を覚えていただき、その後も学級経営や授業について、先輩の先生方から多くのご指導をいただきました。また、様々な研究会や研修会などで声をかけていただいたときなどは、たいへん嬉しく、友松会のつながりの強さを感じることも多々ありました。

現在、学校現場では、相模原支部の方々とも、同じ相模原市の仲間として仕事をしており、相模原支部と津久井支部の区別はありません。相模原支部の方々とは、仕事

だけでなくプライベートで一緒になることも多く、支部の区別なく友松会の仲間としてごく自然に交流が行われています。

また、「最初は津久井支部だったが、異動により現在は相模原支部に所属している」という方や「異動により津久井方面に来たが相模原支部に所属している」という方など、数年前までは考えられない状況も生じています。若い仲間や先輩の先生方からも「一つの支部として活動しても良いのではないか」という意見も耳にします。今後は、相模原支部と津久井支部の合同での会議や懇親会の開催なども計画できたらと考えています。

友松会は現職だけでなく、先輩の先生方にとっても大切な会ですので、広く意見を伺い会員にとってより有意義な会の運営ができるよう努めていきたいと思いをします。

